

③新たな作目や品種の特徴を生かした需要拡大

## 幕別町の有機農産物を用いた有機JAS認証加工食品の開発・製造・販売事業

有機JAS認証農産物を用いた加工食品の普及拡大を図るため、有機JAS認証工場を新設し、一般消費者へも訴求する折笠農場のオーガニック食品シリーズとして「マスタード」「マヨネーズ」「蒸し豆」「トマトソース」「ソイミルクジャム」等の加工食品を開発、製造し、国内外への販売を目指す。

### ➤ 連携体

農林漁業者

(有)ベルセゾンファーム(法人番号 5460102002983)(農業)

有機JAS農産物の栽培と安定供給、有機JAS加工品の開発。

中小企業者

(株)折笠農場(法人番号 2460101000248)(食品・飲料卸売業)

新商品の企画・開発、マーケティング、プロモーション、販売・販路開拓。

連携参加者

(株)プロットアジアアンドパシフィック(法人番号 8460101005340)、(有)プロット(法人番号 5460102002950)、(公財)とかち財団(法人番号 8460105000494)、(有)サン・スマイル(法人番号 6030002078638)

有機JAS加工食品開発のサポート、国内外への販路拡大。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

### ➤ 連携の経緯

折笠農場とベルセゾンファームは、ベルセゾンファームが生産した農産物を折笠農場が物流するという関係にあり、これまでも連携して、市場ニーズの高い農産物を市場へ流通させる取り組みを行ってきた。今回、折笠農場のマーケティングに関するノウハウを活かして、ベルセゾンファームが農産物の生産から農産加工品の製造までを行い、それをオーガニック市場へと商品を流通させ、販路拡大していくという事業として、双方の経営課題解決に向けて連携事業に取り組むに至った。



有機栽培馬鈴薯の使用例(酢)

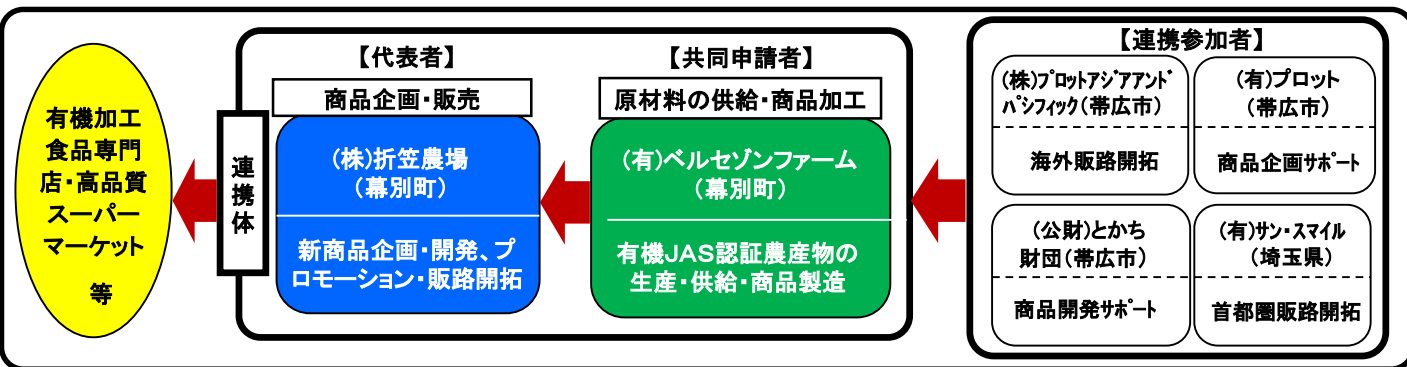
### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

オーガニック食品は価格が割高な傾向があるため、日用品として購入できる価格帯での普及を目指して、製造量と農産物生産量をバランスさせた仕入れロスの低減、機械化、1ロット当たりの製造量をなるべく増やすなどの工夫により、製造コストの低減を目指す。

ベルセゾンファームは、加工用農産物生産拡大を図るため、有機農産物の安定した生産・供給体制の確立、新工場の建設、HACCP対応の管理体制の構築等により有機JAS認証加工食品を製造。折笠農場等を通じた販路拡大により、農業経営の収益力アップを目指す。



有機栽培大豆の使用例(きな粉)



### ➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約4,200万円の売上高増加。

有機JAS認証農産物の生産・加工による売り上げ増加、農業経営の安定。

中小企業者

5年で約5,900万円の売上高増加。

有機JAS認証農産物加工品の販路の拡大と売上の増加。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社折笠農場  
TEL：0155-54-3111  
E-mail：orikasa@olive.ocn.ne.jp

所在地：北海道中川郡幕別町字軍岡393番地  
FAX：0155-54-3675  
ホームページ：